

第36回

総会・懇親会

＜開催日時＞ 令和4年11月19日（土） 午後2時～4時

＜会場＞ 松尾ジンギスカン赤坂店



《会長挨拶》

東京支部会長 松本 洋幸

第8波の発生云々と報道され、ここ数日で何名かの方の欠席を確認しましたが、お店も感染防止に努め、皆様の節度ある対応を持って旧友との楽しいひと時を過ごせればと願っています。

我が母校は開校90年の歴史を刻み、伝統ある母校であります。が、昨今の人口減少・少子化の影響を受け、生徒数の減少により道立高等学校としての存続が危ぶまれています。この危機的状況を克服しようと関係者が一致して打開策に取り組んでいます。校長先生をはじめ同窓会本部、さっぽろ会の各会長さんのメッセージにもあるように、町役場を含めあらゆる関係者の協力のもと新たな試みを実施しているとのこと。一つには、地元からの入学者を増やす方策、更には広範囲な募集を目標に女子硬式野球部の創設です。すでに2名の生徒が入学・入部し、来春の令和5年度には10～11名の入学が見込まれています。監督には日本の代表選手と

してワールドカップ5連覇に貢献した金由起子（こんゆきこ）さんを招聘し、侍ジャパンの栗山英樹監督（日本ハム前監督）の協力も得ながら本格的に取り組んでいくとのこと。関係者のご努力で母校が存続することを願ってやみません。東京支部としても、母校存続に向けての各種活動の中で出来る限りの支援を実施したいと考えます。

当支部の会員は、今日現在で521名の登録がされていますが、一番若い卒業生で昭和63年です。平成の卒業生では残念ながら登録がなく、ご逝去された方や退会を望まれる方もおり減少傾向です。とは言え、上京され東京で活躍されている若い方を見聞するに、一人でも多くの同窓生が加入し、この東京支部の活動が継続されることを望んでいます。

この3年間の活動状況・会計等を事務局から報告し、審議をお願いして開会の挨拶とします。

《令和元年度～3年度「会務報告等」》

1. 主な会務報告

- 元年 5/12 役員会（会場：新大久保・日本海庄や）
11/ 9 栗高 90 周年記念式に桂会長（当時）が出席
11/16 第 35 回総会・懇親会（会場：Live レストラン青山）
出席者 46 名（詳細はすでに送付済みの「支部だより」第 35 号参照）
- 2 年 2/ 9 役員会（会場：新大久保・日本海庄や）
3/ 1 「支部だより」第 35 号の発行（610 部）
3/ 1 栗高同窓会「栗窓」（第 40 号）に瀬尾副会長が寄稿
- 3 年 3/ 1 栗高同窓会「栗窓」（第 41 号）に牛久保副会長が寄稿
8/10 「第 36 回総会・懇親会開催の中止ご案内」発送（570 通）
11/12 栗高さっぽろ会会報（第 23 号）に松本会長と久世事務局長が寄稿
- 4 年 3/ 1 栗高同窓会「栗窓」（第 42 号）に辻谷副会長が寄稿

2. 会員状況

会員数 537 名（4 年 9 月 6 日現在）

3. 母校の近況

- 元年 11/ 9 栗高 90 周年記念式・祝賀会
- 2 年 3/ 卒業生 47 名（男 21 名、女 26 名）－ 普通科 2 クラス
- 3 年 3/ 卒業生 46 名（男 21 名、女 25 名）－ 普通科 2 クラス
- 4 年 3/ 卒業生 28 名（男 14 名、女 14 名）－ 普通科 2 クラス
- ※生徒数（4 年 8 月 1 日現在）

1 学年	26 名（男 12 名、女 14 名）	－ 普通科 1 クラス
2 学年	39 名（男 16 名、女 23 名）	－ 普通科 1 クラス
3 学年	47 名（男 26 名、女 21 名）	－ 普通科 1 クラス
合 計	112 名（男 54 名、女 58 名）	→ 現在 113 名

北海道栗山高等学校校歌

- | | | |
|--------------|-------------|-----------|
| 1. 空知の原に咲き匂う | 小百合の薫り身にはしめ | 月影うつる夕張の |
| 流れに心清めつつ | 学びの庭にいそしまん | 我等は楽し幸多し |
| 2. 連なる峰の冬の空 | 吹雪はげしくすさぶとも | 緑変わらぬ松の色 |
| おのが操にたぐえつつ | 心の紐のゆるみなく | 教えの道を護らなん |

作詞者 福井久蔵(1867～1951 年) 和歌の研究家で学習院大学教授、駒澤大学教授、東洋大学教授、昭和女子大学教授を歴任。「枕詞の研究と釈義」で注目され、「近代和歌史」が代表作。

作曲者 弘田龍太郎(1892～1952 年) 東京音楽大学校卒。ドイツ留学後、母校の教授となる。その後、ゆかり幼稚園などを主宰。代表作は「鯉のぼり」「靴が鳴る」「浜千鳥」「春よ来い」「叱られて」「雀の学校」など。

《 令和元年度～3年度 「収支決算報告」 》

(期間：平成31年4月1日～令和4年3月31日)

＜収入の部＞

※単位：円

前年度繰越金	425,525
栗高同窓会本部助成金《平成30、元・2年度分》	90,000
同窓会費《元・2年度分》	(@2,000×125名) 250,000
元年度《第35回総会・懇親会》参加費	(@6,000×45名) 270,000
寄附金（元年9月20日・下岡房子様）	4,000
前受金（2年6月5日・千葉豊様次期同窓会費）	2,000

① 合 計 1,041,525

＜支出の部＞

※単位：円

元年度《第35回総会・懇親会》案内経費	170,181
元年度《第35回総会・懇親会》開催経費	282,000
元年度《第35号支部だより》印刷・発送経費	180,906
会議費（2年2月9日役員会）	19,543
旅費補助金（元年度/栗高90周年記念式典・桂会長出席）	20,000
3年度《総会・懇親会中止案内》印刷・ハガキ経費	74,872
口座徴収料金（114名分）	20,458
送金手数料・入金印字代（5件）	3,040
通信費（元年度/役員就任依頼、役員会案内、「支部だより」関係先送付）	6,664
資料コピー代等（3件）	1,639
雑費（元年度/奥田前事務局長見舞金10,000、90周年記念式典祝金10,000）	20,000

② 合 計 799,303

収入① 1,041,525 - 支出② 799,303 = 次年度繰越金 240,222
+ 前受金 2,000

令和4年11月19日

上記の通り報告いたします。

会 長 松 本 洋 幸

事務局長 久 世 郁 夫

監査の結果、適正に処理されていることを報告いたします。

会計監査 楠 文 利

会計監査 太 田 見知代

《令和4年度～5年度「役員選出」》

令和3年度に総会を開催することができなかったため、会則第8条～第10条に従い今総会において下記の役員が再任されました（前任役員のうち澤田昌子幹事が退任）。役員任期は2年で令和6年度総会までとなります。

○会 長 松 本 洋 幸（昭和40年卒）
○副会長 瀬 尾 明（昭和43年卒）
○副会長 辻 谷 博（昭和44年卒）
○副会長 牛久保 真知子（昭和46年卒）
○幹 事 元 田 勝 蔵（昭和45年卒）

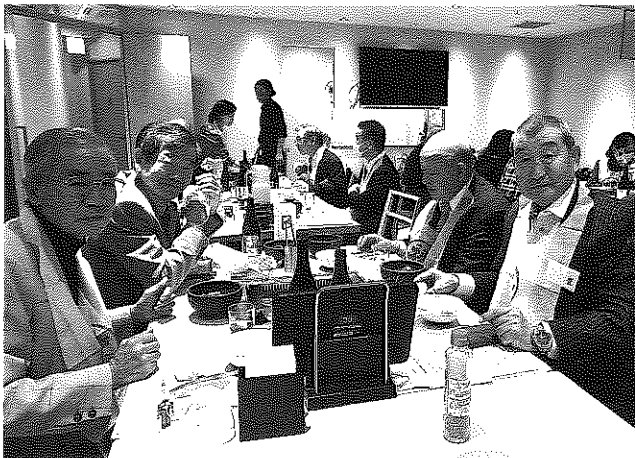
○幹 事 谷 内 稔（昭和48年卒）
○幹 事 安 島 陽 子（昭和63年卒）
○事務局長 久 世 郁 夫（昭和46年卒）
○会計監査 楠 文 利（昭和42年卒）
○会計監査 太 田 見知代（昭和43年卒）

【参考】 現在の顧問（会則第11条による）

○丸 岡 利 市 昭和29年卒（第2代会長）
○真 貝 晃 昭和28年卒（第4代会長）

○横 岡 武 之 昭和31年卒（第5代会長）
○桂 正 洋 昭和37年卒（第7代会長）

《第36回総会・懇親会の様子です》



栗高同窓会東京支部第36回総会に寄せて

北海道栗山高等学校長 駒 井 信 和

コロナウィルス感染症の影響がまだまだ続いておりますが、少しずつ本来の日常生活に近づき始めている今日、3年ぶりに栗高同総会東京支部総会・懇親会が盛大に開催されますことに心よりお祝い申し上げます。

栗高同総会東京支部の皆様におかれましては、コロナ禍においても本校教育の振興にご理解と多大なるご支援を賜っていることに深くお礼申し上げます。

さて、本校の現状は今年度の入学生が2クラス80名定員で募集したところ、25名の入学生で1クラスとなりました。2年連続で2クラス募集が1クラスとなり、3年生2クラス、2・1年生が1クラス、全校生徒113名となっております。

歴史と伝統のある本校にとっての最大の課題は定員割れ対策であります。栗山町の皆様もとても心配され、昨年度に対策の一つとして女子硬式野球部を設立することで生徒募集に繋げようとジャパンで活躍された金由起子氏を栗山町が招聘するとともに女子寮の準備を整えていただき、今年度は2名が管外より入学しました。今年度は本校グラウンドにて体験会を数回開催し、50名以上の中学生が本校に興味を示していただき、女子硬式野球を通じて多くの生徒が入学してくれるように町と学校が連携して取り組んでおります。

また、栗山町が以前より取り組まれている福祉の町栗山は本校にとって特色ある地域の教育資源であります。次年度から入学者選抜において小規模校普通科における特色ある学びの学校が道外募集をできることになり、本校は栗山町の特色である福祉の学びを取り入れることで、道外募集を行い広く生徒を募集できるようにしました。

さらに、地元の栗山中学校の生徒が時間とお金をかけて地元を離れた高校へ進学するのではなく、本校に一人でも多く選択してもらえるように部活動においては本校にない部活動であっても、生徒の希望ですぐに部を設立し生徒の希望に寄り添った対応をすることに変更しました。また、国公立等の難関校を希望する生徒については入学時より3年計画で個別指導することで生徒の進路実現に取り組んでいくこととしました。

現在の本校生徒は、人なつっこく素直で栗山ならではの心がやさしい生徒集団です。3年生の進路では栗山に強い愛着を持ち、育ててくれた栗山に恩返しをしたい気持ちから栗山町役場を受験する生徒もおります。少子化の影響もあり、多くの高校生が地元を離れていく昨今、栗高生の多くが地元就職を希望しており、栗山町の魅力・思いやりのある心を強く感じております。

心温かい栗山町の高校として、町と高校が一体となって活気のある特色ある学校を推進し、同窓生が誇れる学校を目指し取り組んでまいります。これからも応援をお願いいたします。

終わりになりますが、栗高同総会東京支部の益々のご発展と皆様のご健勝を祈念しますとともに、様々な機会をとおして本校への忌憚のないご意見をお聞かせいただきたくお願い申し上げます。

栗高同窓会東京支部第36回総会に寄せて

北海道栗山高等学校同窓会会長 月 輪 淳 裕

皆さんお元気ですか、同窓会会長の月輪です。栗高同窓会東京支部総会開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。北海道は11月に入りましたが未だ初雪は降っておりませんが全国に先だってコロナの第8波だけが早い感じです。

高校ですが、今年新入生が25人ということで、定員割れの対策が一番の課題となっております。栗山町並びに教育委員会が先頭になり空知管内近隣市町教育委員会・中学校訪問し部活動、新たに福祉に特化した授業、全国募集の3セットの内容で本町の特色と結び付け努力いたしております。

皆様におかれましては、同窓生として今後ともお力添えをいただきたいと思います。

貴支部の今後ますますのご発展と会員皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

栗高同窓会東京支部第36回総会・懇親会に寄せて

栗高さっぽろ会会長 猪 熊 輝 夫

札幌は、雪虫が舞い、中山峠に初雪が降り、部屋では石油ストーブに火をつけ、朝夕の外出時にはコート等を身に着けるそんな季節になってきています。

コロナ禍に負けず、北海道でも昔から有名な松尾ジンギスカン鍋を囲んでの第36回総会が盛大に開催される情景を思い浮かべながら、お祝い申し上げます。

ここで、道立栗山高等学校の動向について少しご報告します。

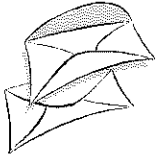
一昨年頃から、北海道教育委員会の意向としての栗山高等学校の廃校が示されていた事、皆様もそれとなくお耳にしておられたのではと思います。この事態に、学校長、町長、教育長、PTA等々41団体が一丸となり、栗山高等学校の存続を支える会を結成し、町をあげて、道教委はじめ関係するすべての機関に存続の働きかけを行ってきました。(注：栗高さっぽろ会もオブザーバー参加を行っています。)

生徒確保の事例として具体的に進めてきている事についてご報告します。

昨年、まず女子野球部を結成することを決め、令和4年度に2名の方が入学・入部されました。現在私立札幌新陽高校に預け、基礎練習等の指導をお願いしています。来年令和5年度に向けては、新たに11名の方の入学・入部の内諾を頂いています。近い時期に本人・父母と学校側との間で懇談会を開催し、最終意思確認を行う予定とのことです。先の2名を含め10～11名の部員が確保できるところまで至っている状況です。加えて、プロ野球日本ハム前監督の栗山英樹氏による指導助言のご協力も頂けるようで、少し明るい方向に向かってこられたように思います。

他にも、介護や福祉の学習等々検討しておられる状況ですが、学校での専門コース、企業起こし、企業誘致、農業の発想転換など皆様からのご提案を頂ければと思い述べさせていただきました。宜しく願い申し上げます。

最後に、一層のご健康にご留意され、古里へもお立ち寄りください。お元気で。



<恩師・会員だより>

※総会・懇親会を案内した際に返信ハガキでいただいた近況などです。《敬称略、()内は卒業年》

- ・田 中 優【恩師】 老人性難聴が激しくて役立たず。読み書きは相変わらず続けている。ご盛会を念じます。
- ・丸 岡 利 市 (S29) 幹事の皆様、毎度御世話になります。私もこのところ足腰に年齢相当のおとろえを感じていますが、体調が許せば、久し振りにふるさとの便りを聴きたいと思っています。
- ・山 内 宣 彦 (S30) 残念ながら欠席しますが栗高の卒業生で良かったなあ…と思っています。ますますの発展、盛会をお祈りします。
- ・山 本 鐵 生 (S30) 蹉跌を覚えず自由を謳歌した往時に思いを馳せています。ご盛会を！
- ・渡 辺 照 香 (S30) 栗山高校の名前を見るだけでとってもうれしく思いました。有り難うございました。
- ・小 林 啓 子 (S31) 総会開催の運びおめでとうございませう。故郷を離れ60数年が過ぎ外出は無理になりました。退会させていただきます。
- ・橋 場 勝 男 (S31) 役員の皆さん、御苦労さんです。自分は何とか元気です。盛会を祈ります。
- ・松 永 章 (S31) 足腰が弱くなり長い旅は無理。御盛会を祈ります。
- ・横 岡 武 之 (S31) 第36回総会・懇親会お祝い申し上げます。御盛会お祈り申し上げます。小生この度体調をくずし、欠席させて戴きます。益々の御発展をお祈り申し上げます。
- ・川 内 紀 彰 (S33) 卒業後60年以上過ぎました。同級生も少なくなってきた寂しさを感じます。総会が無事開催され盛会となることを祈念しております。
- ・志 田 櫻 (S33) いつもお世話様です。コロナ禍で栗山の友人ともなかなか逢うことが出来ません。早く帰栗が出来ますように…。
- ・新 堂 良太郎 (S33) ご盛会を祈念申し上げます。役員の皆様、いつもありがとうございます。
- ・高 山 順 子 (S34) 1人暮らしになってから7年が経ちました。幸い健康でコーラスを50年、小中学生相手の書道教室を33年続けています。車を手放すところとした事を続けることが出来なくなりますので、もう少し運転を頑張ってみようと思っています。盛会をお祈りしています。
- ・堀 口 信 博 (S34) 体調不良により、退会申し上げます。
- ・井 上 民 雄 (S35) 御案内大変ありがとうございました。長かったコロナによる自制が弱まった為か、11月19日は栗高の同窓会を含め、出身大学のOB会や出身会社のOB会、町内会活動、個人の趣味の会等5件の行事が重なってしまいました。大変残念ですが欠席させて戴きます。
- ・後 藤 隆 一 (S35) 所用により欠席します。御盛会をご祈念します。

- ・栗 袋 良 澄 (S35) いつも連絡いただきありがとうございます。今回も欠席で申し訳ございません。おかげさまで元気しております。
- ・山 本 省 琢 (S35) 今回は欠席いたします。御盛會を祈ります。
- ・荒 澤 京 子 (S36) 御盛會をお祈り申し上げます。
- ・服 部 元 昭 (S36) 久しぶりのご案内をいただきありがとうございます。体調調整わず不参加ですが盛會を祈念申し上げます。
- ・葛 西 嗣 明 (S37) 出席できず申し訳ありません。盛會を願っております。
- ・桂 正 洋 (S37) 予定どおり開催されることを望みます。多くの方と久しぶりにお会いしたいですね。
- ・砂 澤 昭 子 (S37) 同窓会の御案内、ありがとうございます。ちょっと腰部脊柱管狭窄症で足が痛いので、来月手術を予定しています。何日入院するかわからないので、残念ながら今回は欠席にしました。
- ・東 保 男 (S38) 皆様方の益々の御活躍をお祈り申し上げます。
- ・亀 森 忠 司 (S38) 他に用事がありますので欠席させていただきます。盛會を祈ってます。
- ・小 池 晶 子 (S38) 御盛會を祈ります。
- ・齊 藤 秀 樹 (S38) 会の盛會を願っております。ありがとうございます。
- ・清 水 美知子 (S38) 総会、懇親会の案内、ありがとうございます。コロナに脅える生活がすっかり板について、笑えない日々です。どうぞ皆様も大事にされてご無事でありますように願っています。
- ・田 中 鈴 子 (S38) いつもお世話いただきましてありがとうございます。残念ですが先約がありまして出席できません。皆さんどうぞ楽しい時間をお過ごし下さいませ。
- ・高 橋 昌 和 (S39) 都合により行けません。盛會をお祈り致します。
- ・高 宮 博 喜 (S39) 栗高同窓会の繁栄と盛會をお祈りしております。
- ・寺 澤 澄 雄 (S39) ご盛會をお祈りいたします。
- ・宮 森 世津子 (S39) 総会等の案内状、有り難うございました。
- ・青 沼 俊 雄 (S40) 体調がいまいち…欠席します。
- ・芋 田 英 一 (S40) 開催を楽しみにしています。
- ・國 岡 悠 子 (S40) 久しぶりの同窓会で楽しみにしていましたが、所用ができてまして残念です。ご盛會をお祈りします。
- ・寺 澤 憲 子 (S40) 都合悪く欠席します。申し訳ありません。ご盛會を願っています。
- ・堀 峰 雄 (S40) 参加出来なく申し訳ありません。
- ・山 本 力 (S40) すみません。欠席です。
- ・和 田 美津子 (S40) お役目お疲れ様です。
- ・伊 藤 隆 夫 (S41) 病氣治療中の為欠席させていただきます。皆様に宜しくお伝え下さい。役員任重責お疲れさまです。
- ・伊 藤 勅 昭 (S41) 猛暑のせいか夏の終わりから体調を崩し、更にぎっくり腰を発症してい

る為、断念致します。

- ・川 原 哲 (S41) 役員の皆様ご苦勞様です。残念ですが町内のボランティアの為、失礼させていただきます。
- ・下 田 眞由美 (S41) コロナで様々なことが制限されていますね。親の法事で先日栗山へ行きました。北海道の素晴らしい土地や水源が中国人に買われている事が非常に残念です。
- ・杉 田 茂 男 (S41) 佐藤茂富先生ご夫妻を総会にお招きしたこと忍ばる。田中優恩師に出席賜りますこと宜しく。会長並びに幹事の皆様方ご苦勞様です。
- ・高 田 徹 夫 (S41) まことに申し訳ありませんが出席できません。皆様によりしく申し上げます。
- ・赤 城 秀 明 (S42) 懇親会に今まで参加できませんでしたが、参加できそうです。是非開催できることを願っています。事務局大変でしょうがよろしくお願い致します。
- ・小 寺 節 (S42) コロナ禍でも元気にやっています。
- ・田 中 啓 子 (S42) 盛会をお祈りします。
- ・柳 澤 彰 (S42) 体調を考慮し今回は欠席します。皆様のご健康とご盛会を祈念申し上げます。
- ・安 島 長 市 (S43) 元気ですよ。ゴルフ楽しんでます。先日初のホールインワン達成して更に元気が出ましたよ。皆様も元気第一で頑張ってください。
- ・岩 見 やよい (S43) 体調が悪く、欠席で申し訳ありません。
- ・太 田 見知代 (S43) 無事開催され、久し振りの再会が叶うと良いですね。
- ・工 藤 哲 (S43) コロナが中々収まりませんが、「栗高健児」精神で乗り切りましょう。総会・懇親会が盛会となることを願っています。
- ・瀬 尾 明 (S43) 久しぶりにお逢いするのが楽しみです。NHKBSプレミアムの日野正平と六角精児の番組で栗山の町並みや古山駅の様子が視えました。NHK総合でも栗山の耕作放棄地が整備されて自然が回復し、ヘイケホタル、クロイロトンボ、オオムラサキが生息する里山になっている様子が紹介されました。
- ・今 野 和 代 (S43) いつもお世話下さり誠にありがとうございます。
- ・中 野 勝 一 (S43) 他に予定があり出席できません。
- ・細 川 雅 司 (S43) 東京まで出ることがなくなっておりますが、出席いたします。なお、妻（美恵子）も同窓ですが、都合により欠席いたします。
- ・増 田 道 俊 (S43) 事務局はじめ関係者の皆様、いつもご苦勞様です。今回も残念ながら都合がつかずに出席できません。盛会であります様願っています。皆様のご健康とご多幸を祈念しております。
- ・吉 田 志津男 (S43) 盛会をお祈りします。
- ・辻 谷 博 (S44) 自由業で社会参加しております。

- ・倉 地 正 行 (S45) 総会・懇親会おめでとうございます。盛会を祈念しております。
- ・牛久保 真知子 (S46) みなさんお元気でしょうか。この1年で先輩の仕事仲間が次々と亡くなり悲しいです。みなさんにお会いできる事を楽しみにしています。
- ・角 恭 輔 (S46) 元気にしてます！
- ・久 世 郁 夫 (S46) 45年勤めた職場を退職して2年余り。退職後から畑作業と中学校女子ソフトボール部のボランティアコーチを続けており、おかげさまで元気です。
- ・中 野 典 子 (S46) お世話になっております。足立区から江東区に引越し、ベランダからスカイツリーをながめております。
- ・松 本 章 治 (S46) 今回参加できずすみません。次回は参加します。
- ・金 丸 和 行 (S48) 初めての出席になりますが、よろしくお願いします。
- ・佐 藤 直 子 (S48) 私自身の生涯学習として「洋裁」を続けています。皆様の御多幸をお祈りいたします。
- ・田 中 ヤス子 (S48) 週3日働いて4日休む生活も8年目。元気でいます。コロナ以来、栗山が遠くなりました。兄が元気なうちに帰省しようと計画中です。
- ・水 田 佳良美 (S48) いつもながらののんびりペースで日々過ごしています。6月に、3年ぶりに帰省し田舎の空気を吸ってきました。
- ・山 田 泰 士 (S48) 同窓会の開催にご尽力いただきありがとうございます。コロナ渦で出張も減少、4回接種して奮闘しています。
- ・山 本 久美子 (S48) いつも有り難うございます。私には少々遠方の為、欠席させていただきます。コロナの感染に気を付けながら生活しています。
- ・長 屋 鉄 治 (S51) 地域の過疎化、少子化等により、近隣市町村において閉校、統合も多くなっている昨今、母校の存続が心配です。なお、今回も出席できませんが、皆さまのご健勝をお祈りいたします。
- ・鹿 間 美津子 (S54) 初めての出席で、とても楽しみにしています。

訃 報

ご冥福をお祈り致します《敬称略》

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| ・大 丸 美恵子 (30年卒) 令和4年9月 | ・池 田 良 和 (40年卒) 令和3年4月 |
| ・北 井 良 吉 (32年卒) 令和3年11月 | ・中 西 堅 二 (40年卒) 令和2年5月 |
| ・小 林 隆 夫 (33年卒) | ・曾根田 力 (41年卒) 令和3年7月 |
| ・小 川 悌 三 (34年卒) 令和3年2月 | ・堀 田 等 (42年卒) 令和3年12月 |
| ・赤 松 完 (36年卒) 令和4年4月 | ・蔵 田 美津子 (45年卒) 平成30年 |
| ・友 井 哲 夫 (38年卒) 令和4年4月 | |

北海道栗山高等学校同窓会東京支部会則

● 第1章 総則

第1条 本会は、北海道栗山高等学校同窓会東京支部と称し、事務局を局長宅に置く。

第2条 本会は、会員相互の親睦を図り、母校の発展に寄与することを目的とする。

第3条 本会の目的を達成するために次の事業を行う。

1. 会員の親睦を図ること
2. 母校の発展に寄与すること
3. 会報および会員名簿に関すること
4. 本部や関係機関との連携を図ること
5. その他本会の目的達成に必要なこと

第4条 本会則に定めるもののほか、施行に必要な細則は役員会の議決を経て別に定める。

第5条 本会則の改定には、総会における出席会員の3分の2以上の同意を必要とする。

● 第2章 会員および組織

第6条 本会は、同窓会の道外の会員を対象として組織されるものとする。

第7条 その他役員会の承認を得た特別会員とする。

● 第3章 役員の選出と任期

第8条 本会には、次の役員を置く。

1. 会長 1名
2. 副会長 若干名
3. 幹事 若干名
4. 事務局長 1名
5. 会計監査 2名

第9条 役員は、総会において会員出席者の過半数の賛成をもって選出する。

第10条 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。

第11条 本会は、運営の一助として顧問を置くことが出来る。会長は、原則として歴代会長を顧問に委嘱する。

● 第4章 役員の任務

第12条 会長は、本会を代表し、総会・役員会等を招集するとともに会務を総括する。

第13条 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはこれを代行する。

第14条 幹事は、会員を代表し、会員の意向を役員会に反映する等業務を補佐する。

第15条 事務局長は、本会の庶務・会計などの業務を執行する。

第16条 会計監査は、本会の会計を監査する。

● 第5章 会議

第17条 本会の円滑な運営を図るため、次の会議を開催する。

1. 総会 (1) 1年おきに開催する。
(2) 会員相互の親睦を図るとともに、本会会則の改定等を審議する。
2. 役員会 (1) 会長、副会長、幹事および事務局長で構成する。
(2) 会則の改定、総会の開催、会計その他の運営方針等を審議する。
(3) 次期役員を総会に推薦することができる。

● 第6章 会計

第18条 本会は、会員より会費を徴収することができる。

年会費の額は、1000円とし、総会の開催年に2年分の2000円を徴収する。

第19条 本会の会計年度は、総会開催年の4月1日から2か年間とする。

第20条 本会の収支決算は、総会に報告し、承認を得るものとする。

第21条 本会の経費は、会費およびその他の収入をもってこれに充てるものとする。

第22条 本会は、役員および顧問が死亡したときは「弔意」として「生花」を贈ることとする。

付則 この会則は、昭和56年11月14日施行する。

付則 本会則は、平成13年10月27日一部改正する。

付則 改正後のこの会則は、令和元年11月16日より適用する。

— 次回の総会・懇親会開催予定 —

開催日：令和6年11月16日（第3土曜日） 午後の開催
会 場：東京都内（未定）

◇ 同窓会費送金のお願い ◇

支部活動は同窓会費によって支えられています。同窓会費（4～5年度）2,000円をまだ未納の方は、ぜひ送金のご協力をお願いいたします。下記の送金方法があります。

- ①昨年9月にお送りした「振込取扱票」をお使いの場合は、郵便局のATMまたは窓口でご自身の通帳またはカードをご利用ください。現金での送金は払込人負担料110円がかかります。
- ②「振込取扱票」がない場合は、郵便局のATMでご自身の通帳またはカードを利用され「栗高同窓会東京支部、口座番号00100-5-147279」宛にご送金ください。ただし、払込人負担料100円がかかります。

編集後記

☆昨年11月はコロナの第8波が広がり始めた頃で、総会・懇親会の参加を控えた方、総会直前に欠席を決めた方もあり、残念ながら出席者はいつもの半分以下の25名でした。幸い参加後に感染したとの報告はなく、役員一同ホッとしました。この「支部だより第36号」では、総会・懇親会の報告をさせていただきました。出席者は3年ぶりに会えたことを喜び合い、また、欠席の方々から寄せられた近況などの便りにも眼を通し会話に花を咲かせました。

☆総会・懇親会開催に寄せて栗山高校の駒井信和学校長、同窓会本部の月輪淳裕会

長、さっぽろ会の猪熊輝夫会長からお祝いのメッセージをいただきました。ここに改めて御礼を申し上げます。メッセージでは、母校や栗山町の近況などが紹介されていますが、総会で松本会長から「栗山高校の存続を支える会」への支援が提案され会員の賛同を得ました。

☆令和6年の総会・懇親会には、ぜひ同期の方々お誘い合わせの上ご出席ください。会員皆様の引き続きのご支援ご協力をお願いするとともに、ご提案ご意見をお待ちしています。

（事務局）

< 北海道栗山高校同窓会東京支部 連絡先 >

◇会 長 *matsumotohiro31@grail.com*

松 本 洋 幸 〒241-0801 神奈川県横浜市旭区若葉台2-20-1002 TEL/FAX. 045-922-3638

◇事務局長

久 世 郁 夫 〒343-0804 埼玉県越谷市南荻島4208-4 TEL/FAX. 048-974-3569

東京支部だより第36号

発 行 日 令和5年3月1日

編集・発行 北海道栗山高校同窓会東京支部事務局

責 任 者 東京支部会長 松本 洋幸

印刷・製本 白金プリンター株式会社